

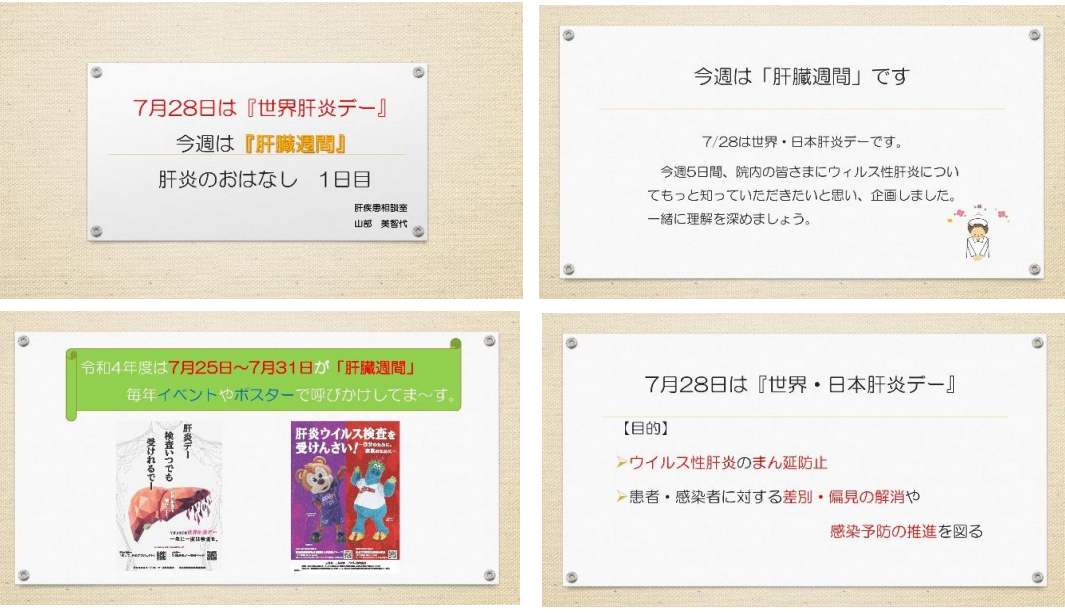



実施機関名	実施期間	参加者	実施場所	実施内容	啓発資材内容、活用数等	実施後の感想等	活動状況
土谷総合病院				・ポスターの掲示 ・外来患者にリーフレットを配布	・特任Co企画ポスター3部 ・特任Co企画リーフレット300部	・通年通して使用できるデザインとなっていた為、現在も診察室などに貼って使用している。 ・医師に対しても啓蒙できるよききっかけとなった。	
広島大学病院	7/25～7/31	消化器内科医師22名 看護師38名 薬剤師1名 事務員6名	①外来(内科, 化学療法室), 病棟(消化器内科, 消化器外科, 精神科, 総合治療病棟, 薬剤部), 薬剤部製剤室, 肝疾患相談室 ②広島大学(職員電子掲示板, 学生電子掲示板)	①啓発ポスター掲示, 市民公開講座ポスター掲示, 腕章着用による無料肝炎ウイルス検査受検勧奨および受検案内 ②電子掲示板への啓発ポスター掲示, 肝炎検査受検勧奨メッセージ投稿および活動報告(写真)掲載	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がんに)18部 ・県提供ウェットティッシュ 50部 ・特任Co企画ポスター255部 ・市民公開講座ポスター42部 ・肝疾患相談室案内チラシ200部 ・その他自施設で作成	・啓発資材や腕章を見た患者や施設スタッフより問合せがあった。 ・入院患者では既受検であることから受検に繋がらないケースが多かった。 ・受検に繋がった方からは、「肝炎やその無料検査について、病院勤務でも耳にしたことがなく、初めて今回のような取り組みや肝炎について触れる機会を得た。」「もっと部署の人たちに広めます。家族にも確認してみます。」と反応があった。また、受検した方には、検査結果を聞くことが不安と思う人もいた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、患者への声かけや集客型の啓発活動は控えた。 ・大人数のスタッフが腕章を着用し、肝炎デーのアピールにつながった。	   
中電病院	7月28日	肝臓専門医1名 内科外来・検診センター 看護師5名 検診センター受付クラーク2名	①内科外来受付 ②検診センター	①肝炎デーポスター掲示。 ②検診終了時にA4サイズのリーフレットと肝臓内科の案内メッセージを付けてウェットティッシュを配布した。 ・中電本社へはポスターに関する情報提供を行った。(肝疾患コーディネーター在籍)	・広島県提供ウェットティッシュ ・特任Co企画ポスター3部 ・特任Co企画リーフレット50部	・施設スタッフからウェットティッシュが配布資材として良かったと意見があった。 ・今年度、特任肝疾患コーディネーター連絡協議会で作成したポスターは通年活用できる内容だが、肝炎デーを強調したポスターにしてもよいのではないかと意見があった。	検診センター  
呉医療センター		特任肝疾患Co(SW)	消化器内科外来	外来にて受検勧奨リーフレットを設置。	・特任Co企画ポスター1部 ・特任Co企画クリアファイル1部	外来に設置したが、取っていただける部数が少なかった。 配布物がたくさん置いてあるので見つけにくかったのかもしれない。 配置した場所が消化器内科の外来だったため、検査をすでに受けていることが原因の1つと考えられる。 しかし、病院ではあまたの配布物が設置されており、そのなかでどれだけみてもらえるかが心配なところ。	

実施機関名	実施期間	参加者	実施場所	実施内容	啓発資材内容, 活用数等	実施後の感想等	活動状況
東広島医療センター	7/20~7/31	医師 肝疾患Coナース 看護師長 医師クラーク	病院ロビー	外来患者にリーフレット・受検勧奨ポスターを配布し、受検を呼びかけた。	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん) 20部	33名に対し、啓発ポスターを配布し、肝炎について関心を示し、説明を聞きたいと言った患者に、リーフレットを使用して肝炎ウイルス検査について説明した。「肝炎ウイルスはどうしたらうつるのか。」「検査はどこで受けられるのか。」「無料で受けられるのか。」などの質問があった。 当院では肝炎ウイルス検査が受けられないため、一覧表を用いて近隣の病院を紹介し、受検を勧めた。高齢者だけでなく、30代の若い方も興味があることが分かった。	   
広島西医療センター	7/28	薬剤師	①正面玄関 ②内科外来待合室、喫茶スペース前、お薬お渡し口、治験管理室前)	①外来患者へリーフレットを配布し、受検を呼びかけた。②ポスター掲示	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)50部 ・特任Co共同企画ポスター4部	新型コロナウイルス感染症の影響により、単独対応した。また、感染対策として、患者と距離をとる必要があった。	<p>①</p>  <p>②</p> 
安佐市民病院	7/22~8/1	・肝臓専門医 ・外来看護師 ・特任肝疾患コーディネーター(2人)	内科外来	・ポスター展示 ・外来患者へリーフレット配布し、受検勧奨	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)80部	・付き添いで来られているご家族が、興味を示し、詳しい話を希望された。 ・内科のみでなく、他にも配布がないか問い合わせがあった。	

実施機関名	実施期間	参加者	実施場所	実施内容	啓発資材内容、活用数等	実施後の感想等	活動状況
安佐市民病院	10月15日	・肝臓専門医 ・病棟看護師 ・特任肝疾患コーディネーター(2人) ・肝疾患Co ・検査技師		院内開催の健康祭りに肝臓チームとして参加し地域の方に啓発活動を行った。	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)60部 ・肝炎ウイルス検査を受けんさい! 30部 ・ウェットティッシュ100部 ・特任Co共同企画クリアファイル30部 ・他医師から提供された肝炎についてや食事療法のパンフレット	・寒天にコインや食品を固めた物を167人の来院者に、ゲーム感覚で実際にエコーをしてもらい何が入っているか当ててもらった。待ち時間に看護師や検査技師で説明をおこなった。話だけを聞きたい方もこれらすべての資材がなくなった。	活動状況 医師と検査技師がエコー用に手作りして寒天を作成し、エコーを使用して参加者が当てている様子。参加者は見え具合に驚き、楽しんでもらいました。肝炎だけでなく検診の啓発も行いました 
広島市民病院			内科外来	内科外来、検査室前、薬局前の3カ所にポスターやリーフレットを設置し、掲示した。	・特任Co共同企画ポスター3部 ・特任Co共同企画リーフレット5部 ・特任Co共同企画クリアファイル10部	関連する患者の多いことが予想される内科外来に配置し、外来看護師にも可能な範囲で周知していただくよう依頼した。共通の目的を持って啓発活動が実施できるため、特任Co企画ポスターの活用をして良かったと考えられる。	
福山市民病院	7/25~7/29	特任Co(看護師)	①電子カルテ内の情報共有システム	①情報発信 電子カルテ内《情報共有システム》を利用して、院内職員を対象に肝炎に関する情報を発信した。7/25~7/29の5日間、毎日テーマを変えてパワーポイントで資料を作成し情報発信した。閲覧数は、471回であった。 ②ポスターとリーフレットを配布 関連医療機関:51施設 保健所:4か所 医師会:4か所へ配布した。コロナ禍にて配布物はすべて郵送とした。	・特任Co共同企画ポスター59部 ・特任Co共同企画リーフレット59部	・啓発資材をたくさん提供して頂いたが、コロナ再拡大により手渡しでの配布が困難となったため、配布できない状態となっている。 ・対面での研修ではなく違った形で情報発信できたことは、コロナ時代だからこそその発想から可能となったのだと思う。	電子カルテで情報発信を実施 
マツダ病院	7/25~7/29	肝臓専門医2名 肝疾患Co20名 (看護師15名、臨床検査技師2名、薬剤師1名、理学療法士1名、管理栄養士1名)	外来棟:玄関フロア、検査室前、各科待合室 入院棟:各病床フロア	・外来患者及び付き添い家族にリーフレットを配布し、受検を呼び掛けた。 ・検査済の方には、検査カードやオリジナルシールを配布した。 ・期間中、玄関フロアで肝炎に関するDVDを放映した。 ・7/26に肝臓病教室(疾患、栄養、運動について)を開催し、3名が受講した。	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん):87部 ・肝炎ウイルス検査記録カード:27部 ・特任Co共同企画ポスター10部 ・特任Co共同企画リーフレット132部 ・特任Co共同企画クリアファイル:27部 ・肝炎ウイルス検査を受けんさい!ポスター:310部	・陰性結果説明活動を開始して、以前より検査結果を把握している方が増えていると感じた。 ・DVD放映から興味を持ち、検査に繋がる事例もあった。 ・肝臓病教室は感染予防上の制約もあり、参加者が少なかったが、興味を持って聴講されていたので、もっと案内方法を検討したい。	

実施機関名	実施期間	参加者	実施場所	実施内容	啓発資材内容, 活用数等	実施後の感想等	活動状況
尾道市御調保健福祉センター	7月20日	特任Co(保健師)を筆頭に看護師, ホームヘルパー, 事務, 保健師, ケアマネジャー他多数	保健福祉センター	センター職員へ啓発資材を配布, 職員に肝炎ウイルスについて周知し, 受検の呼びかけや知人へも肝炎ウイルス検査の受検を勧めてほしいと周知依頼した。	・県提供受検勧奨リーフレット 30部 ・特任Co共同企画クリアファイル: 30部	「肝臓のこと?」「7月末が肝炎デー?」「リーフレットのイラストは肝臓を示しているの?」など率直な気づきを教えて頂き, 年1回の肝炎デーに合わせて, PRするだけでも良い効果があると感じた。	
庄原赤十字病院				・ポスターの掲示 ・外来患者にリーフレットを配布	・特任Co企画ポスター2部 ・特任Co企画リーフレット2部 ・特任Co企画クリアファイル4部	文字の大きさがより大きいと良いと思われる。	
広島圏域特任肝疾患Co⇒広島圏肝疾患Co	7月15日	広島圏域Co		広島圏域特任肝疾患Coから広島圏域肝疾患Coへ啓発依頼を実施した。(県のメーリングリストを活用して依頼) 依頼を受けたCoの活動内容 ①緑風会薬局 薬局待合室に掲示及び設置。薬局で行っているサロン時に紹介して、参加者に配付 ②府中町保健センター 保健センター内に掲示 ③一般財団法人広島県環境保健協会 健康診断受付と待合室に掲示 ④広島県西部保健所 保健所内の掲示板やフリーテイクに設置。来所者に対して直接配布 ⑤広島記念病院	・特任Co共同企画ポスター44部 (Coが各自で印刷した。)	<活動を実施したCoの感想> ・施設利用者から肝炎検査について質問があった。 ・次年度もポスターの提供を希望したい。理由:関係者(来所者)に紹介や配付ができ, 普段から肝炎検査について啓発を行っているため。コロナ禍の影響で雑誌やリーフレットも設置を減らしているため。院内で肝疾患コーディネーターの存在を広めていきたい。 <特任肝疾患コーディネーターとしての所感> ひろしま肝疾患コーディネーターへの啓発資材活用案内は、各コーディネーターの啓発活動の契機提供と活動の後押しに繋がった。	
広島赤十字・原爆病院	令和5年2月2日	医師(5名) 看護師(1名) 医師事務補助者(1名) 管理栄養士(1名)	栄養指導室	・ポスターの掲示 ・リーフレットを配布	・県提供受検勧奨リーフレット (気が付かないうちに肝がんに) 20部	コロナ禍の影響により, 活動が制限された。	